



・本日の議題

イチョウ並木 (神宮外苑) 東京都

- ①工事の現況と今後の予定 (専務)
- ②各現場状況報告 (又は問題点)
- ③その他

(注) 安全大会の時刻は18:00(集合次第)~19:00とします。

その後は、自由参加としますので適時解散してください。

議題①: 工事の現況と今後の予定

いつも現場での業務大変お疲れ様です。気温もだいぶ下がり今年の大変だった夏から一転、日中も過ごしやすい気候になり体力にも少しゆとりが出てきているかと思いますが、最近のニュースや私の周りでは夜の冷え込みや乾燥からか体調を崩す方が大変増えています。日中との気温差が10℃以上になる日もあり周りで聞く風邪の症状は一週間以上の不調が続きとても長引くのが特徴です。体を冷やさないように注意し栄養バランスの取れた食事を取り体調管理をよろしくお願い致します。

昨年2022年末頃の関係先社長との談話で今年2023年は物件数ともに減るかもしれないとの予想もあり物件の獲得では不安のあるスタートで年初は昨年末の大型物件辞退の件も相まって少し常用工事に出たりする事もありましたがその後予想に反し物件量も昨年を超える勢いで増えていき、獲得物件の内容としても物件規模のまとまった案件や官工事も獲得することができ現在を迎えることができています。内訳として10月末まで昨年11月1日から物件数は大小ありますが常用を除き当社施工26物件、協力会社様施工23物件の計49物件となり以前今後の積算数や依頼予定数も増えております。これも当社皆さんや各協力会社様のご協力もあり次の物件依頼を頂けています。一つ一つの物件を大切綺麗に納めていき安定した物件数を獲得していき日々の充実した生活を続けていきましょう。

そして先月9月23日から海外技能実習生の第二期生雇用に向け現地面接のためインドネシアへ渡航しました。今回面接参加者数は9名。皆さんやる気と活気に満ちていて日本で共に働きたいと強い意志がひしひしと伝わってきて3名を選考するのに大変苦労しましたが体力テストや面談の結果3名を決定することができました。

当社配属予定は2024年4月を目途に関係先と調整を取っています。二期生が加わると一期生  
含め6人体制となり共に解体技術や当社リズムを習得してもらい更なる安定した施工の実現を担  
う仲間です。お互い言葉は最初少し伝わりづらいですがよくコミュニケーションをとり取引先に  
より良いサービスを提供できるよう頑張ります。  
終わりに年末まで後3ヶ月を切りました、よい年末年始を迎えられるよう力を合わせて頑張っ  
ていきましょう。

ご 安 全 に

## ※当社としての基本的心得※

1. ヘルメット・ハーネス・安全靴等作業に適した**保護具適正使用の徹底**に努める「基本は毎日習慣に」
2. 場内の重機作業エリアとの**区画整備・安全通路区画整備の徹底**に努める「重機接触は即死亡災害」
3. 場内及び現場周辺道路等の**清掃を定期的に行い美化**に努める「きれいな現場では事故は起きない」
4. 壁倒し後のガラ受けや**犬走の掃除**を毎度忘れずに「そのまま噛んだら足場や近隣様所有物を破損してしまう」
5. **現場内無線連携**(段取り・合図・居場所確認)の確立化を徹底する「見えないところも見える」
6. 高所作業時**ハーネスの2丁掛**の意味についても一度考えてみよう「掛替時に災害に隙を与えない」
7. 直近上位や元請様に**年齢関係なく親切丁寧な会話**を誠意をもって対話する「良心は巡って帰ってくる」
8. 近隣の方々へ日頃我々の仕事のために騒音振動など迷惑を掛けいるという意識を持ち、**挨拶や清掃で気持ち**を返す「気持ちは伝わる」
9. **重機配管カバー**は全部取付できているか? 「今一度確認!」※破裂 → 車、家等付着 → 清掃処置(損失大)
10. 解体工事を行う上で**必要設備資機材**はきちんと揃っているか? 「足りなければ手配連絡を!」
11. **熱中症に向けて意識**を高めよう「対策や有事の対応をおさらいしよう!」
12. 有事(災害や事故)や協議事項等の**事案が発生した場合は必ず会社へ連絡**する! 「本部にお客先から連絡が着て知ったのでは遅い! =印象が大変悪い!」

以上を基本的な考えとして日々安全現場を構築していきましょう

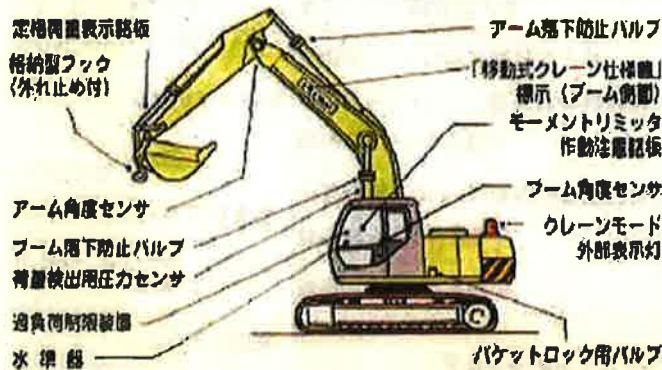
ご 安 全 に

## クレーン機能を備えた車両系建設機械とは

クレーン機能を備えた車両系建設機械とは、油圧ショベル(ドラグ・ショベル)等の車両系建設機械に、荷をつり上げるためのフック及び安全装置等を取り付けることにより、荷のつり上げ、運搬を行うことができるクレーン機能を備えたものです。

この機械を用いたクレーン作業は、労働安全衛生規則第164条に規定される車両系建設機械の「用途外使用」には該当せず、移動式クレーンとして扱われます。

クレーン機能を備えた車両系建設機械には、クレーン作業を安全にするため、JCA規格((社)日本クレーン協会規格)に適合した過負荷制限装置をはじめ、各種の安全装置が備えられています。



## 油圧ショベルによる労働災害と法令等の経緯

### 用途外使用の禁止

当初、車両系建設機械による荷のつり上げ作業は、災害が多いことから、一定の要件を満たした場合の土止め支保工の組立等の作業を除き、用途外使用として禁止されていた。



### 用途外使用の制限の緩和

建設作業現場等における実状と災害を背景に、平成4年に用途外使用の制限が緩和され、作業の性質上やむを得ない等の特定条件下では、アーム、バケット等の作業装置につり上げ用具を取付け、安全措置を講ずる等により、荷のつり上げが認められるようになった。

<特定の条件下とは>

作業場所が狭く、移動式クレーンを搬入して作業すると作業場所が雑線し、危険が増すと考えられる場合



ところが、この緩和措置の拡大解釈もあり、油圧ショベルによるつり荷作業に伴う災害が多発するようになりました。



**JCA規格「油圧ショベル兼用屈曲ジブ式移動式クレーンの過負荷制限装置」の制定**

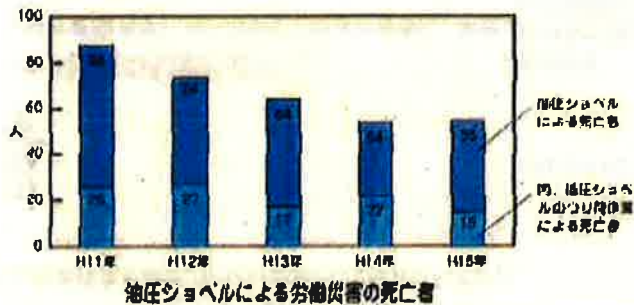
この状況をふまえ、(社)日本クレーン協会において、平成10年にJCA規格が制定され、つり上げ荷量が3t未満の油圧ショベル兼用屈曲ジブ式移動式クレーンに装備する過負荷制限装置について、その機能・構造・性能等が規定された。



**事務連絡「クレーン機能を備えた車両系建設機械」の取扱いについて**

平成12年に労働省(現厚生労働省)労働基準局安全衛生部安全課長より事務連絡として、クレーン機能を備えた油圧ショベル等の車両系建設機械の法令上の位置付け、クレーン作業、資格関係等について示された。具体的事項は別添参照

以上のような法令等の経緯を経ていますが、油圧ショベルによるつり荷作業では、まだ多くの労働災害が発生しています。



**クレーン作業に必要な資格**

クレーン機能付き車両系建設機械を用いてクレーン作業を行う場合は、移動式クレーンと同様、当該機械のつり上げ荷量に応じた運転の資格が必要です。また、玉掛け作業についても玉掛けの資格が必要です。

作業内容	当該機械のつり上げ荷重	必要な資格
運転の業務	5t以上	移動式クレーン運転士
	1t以上5t未満	移動式クレーン運転士 小型移動式クレーン運転技能講習修了者
	0.5t以上1t未満	移動式クレーン運転士 小型移動式クレーン運転技能講習修了者 移動式クレーン特別教育修了者
玉掛けの業務	1t以上	玉掛け技能講習修了者
	0.5t以上1t未満	玉掛け技能講習修了者 玉掛け特別教育修了者



# クレーン機能付油圧ショベル運転の厳守事項

## 1. クレーン作業は移動式クレーンの資格、掘削作業は車両系建設機械の資格が必要です！

クレーン作業	
つり上げ荷重	資格
1t以上～5t未満	小型移動式クレーン運転技能講習
1t未満	移動式クレーン運転業務特別教育

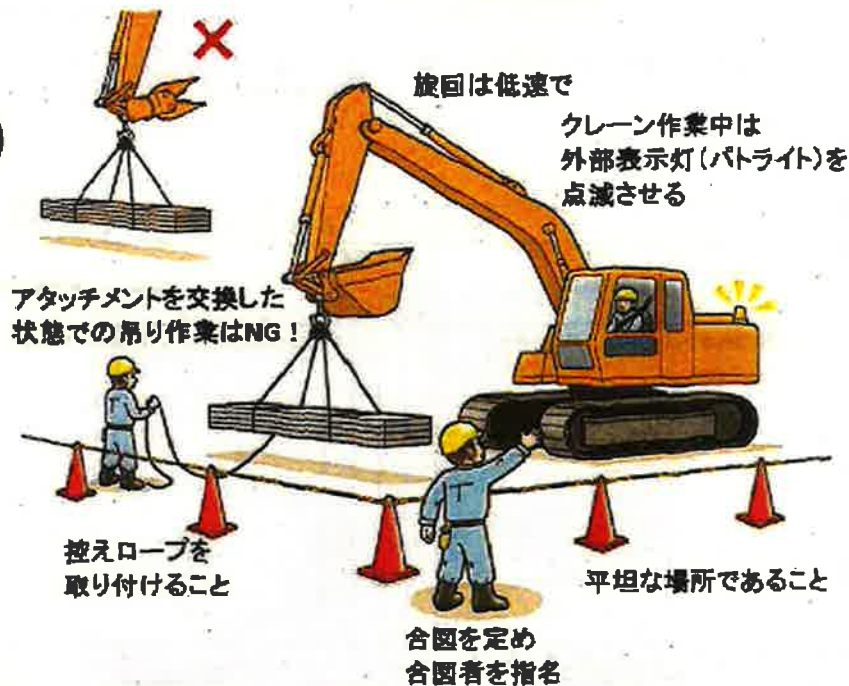
掘削作業	
機体重量	資格
3t以上	車両系建設機械運転技能講習 (整地・運搬・積込み用および掘削用)
3t未満	車両系建設機械運転業務特別教育 (整地・運搬・積込み用および掘削用)

## 2. 作業開始前に行なうこと！

- ①作業計画書を確認しましたか？（移動式クレーン）
- ②始業前点検は実施しましたか？
- ③立入禁止措置はできていますか？
- ④操作レバーにひっかかる服・保護具は着用しない。

## 3. 作業中の注意事項！

- ①発進前・操作前に周囲を確認する。
- ②クレーン作業時はクレーンモードに切り替える。
- ③クレーン作業は水平堅土上で行う。
- ④運転席から離れるときはバケットを地面に降ろし、エンジンを止め、カギを抜く。



バックホーにおける用途外使用防止対策

その他-4

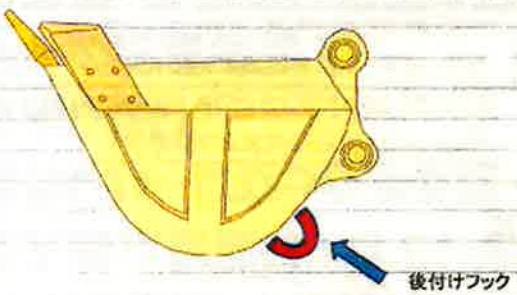
改善記録(写真、略図等)

工事内容 道路改良工事

危険性発生  災防道/ストローク  店社/ストローク  作業所の逆側  その他 ( )

危険状況を示す内容・写真

クレーン仕様バックホーのバケットに後付けでフックが溶接してある。



後付けフックが使用できないよう番線等で封印。



具体的な問題点の把握と評価の低減対策の検討

番号	問題点の把握	リスク評価				危険性又は有害性の評価の低減対策	対策後再評価				関係法令	コメント(追記・確認すべき事項)
		重大性	可能性	評価	危険度		重大性	可能性	評価	危険度		
1	安易に後付けフックを使用し、用途外作業を行ってしまう。	3	3	9	C	容易に使用できないよう番線等でフックを封印した。	1	2	2	E	安衛則第164条	クレーン仕様であるにも拘らずこのように後付けでフックが溶接されているものが非常に多い。特に自社の機械に多く見受けられます。クレーン仕様の機械が一般的になっている現在、このような後付けフックは取り外すよう指導をしましょう。

重大性	評価	評価基準	可能性	評価	評価基準	評価(数値)	危険度	危険度の基準
死亡災害	5	死亡又は重度の災害	極めて高い	5	発生する可能性が非常に高い。(三大災害が顕著、注意して居ても起こる)	16~25	必須	A 工法、設備などの抜本的な対策が必要。
重度な災害	4	長期入院を要す	高い	4	多く発生する可能性がある。(注意して居れば防ぐ事可能)	12~15	最優先	B 作業内容、作業手順を再検討する必要がある。
中度な災害	3	休業4日以上	ある	3	時々発生する。(注意して居れば防ぐ事可能)	8~10	優先	C 当該作業場所の危険要因を低減する必要がある。
軽度な災害	2	休業4日未満	低い	2	まれに発生する可能性がある。(注意して居れば発生しない)	4~8	許容	D 作業開始前に安全指示を行う必要がある。
軽微な災害	1	不休災害	極めて低い	1	ほとんどない。(注意して居なくても発生しない)	1~3	無視	E 特に対策の必要ない。

①再評価の重大性低減措置について(可能性が2以下の場合は、重大性を-2まで低減することができる)

(株) ショキタ安全大会資料

所用のため安全大会不参加で、申し訳ありません。

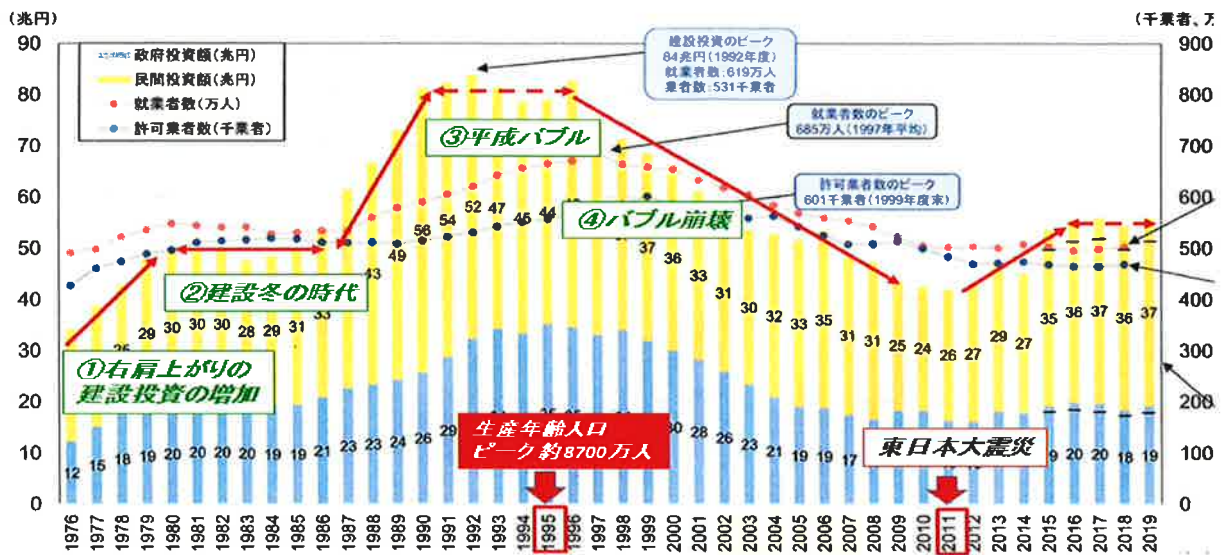
前回と前々回の安全大会で、「日本の人口は、今後とも減少を続ける」という話をしましたが、今回は、「建設業自体がどうなっていくのか」について、話題を提供します。

昨年度の全国安全週間スローガンは、【安全は 急がず焦らず怠らず】です。  
 そのためには、会社自体の経営も【急がず焦らず怠らず】が重要です。  
 時代の流れを見ながら、会社を堅実に運営していくことが必須です。

今までの経緯を見ると、日本の建設投資額は、時代とともに大きく変動してきています。

⇒「今後、どう変化していくのか？」非常に先の読みにくい時代です。

【日本の建設投資額の推移】



- ・ 政府投資額（青色の棒線）+ 民間投資額（黄色の棒線） = 建設投資額  
 ⇒ 左側の縦軸に表示（単位：兆円）
- ・ 民間投資額：戦後、右肩上がりで増加  
 ⇒ 「建設冬の時代」に、投資額が埒体（S55 年代）  
 ⇒ その後バブル発生、バブル崩壊後、24 兆円（2010 年）まで低減  
 ⇒ 東日本大震災発生後、増加（近年 36～37 兆円程度まで増加、推移  
 （主に、金利安、円安、相続税対策、中国からの投資資金の流入等が原因）

- ・ 当然、解体工事は、民間投資額（黄色の棒線）に連動してゆく。  
 ⇒ 時代の変化を読みながら、会社の皆の力を合わせて行くことが重要。
- ・ そのためには、何か具体的なことを一つ決めて、確実に実行してゆく  
 ⇒ よく月には、その結果を確認する！  
 ⇒ 毎月、それを繰り返していく（みんなの力をあわせる！）